

水を届ける 新戦力

消防洞爺湖支署に大型水槽車配備



西胆振行政事務組合消防本部伊達消防署洞爺湖支署に、新しい小型動力ポンプ付き水槽車が配備されました。これまで使用されていたタンク車の積水量は3千リットルでしたが、3倍以上となる1万リットルの水を運ぶことが可能となり、災害現場などで活躍が期待されます。

従来のタンク車が配備されたのは2002年。今回更新された水槽車は全長約9メートル、全幅約2.5メートル、全高約3.1メートルで、消火栓や防火水槽が無い地区でも単独放水ができます。また、災害時には車両後部に設置されている蛇口を使い、給水活動も行えます。

4月には関係者に公開され、洞爺湖支署の署員が水槽車の各機能について説明。給水用の蛇口を使って水を出すなど実際の使い勝手を確認しました。結城勉支署長は「虻田地区では初めて配備された大型水槽車です。町民の皆さんのために役立てます」と話していました。

ワンポイント 手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第70回目は介護高齢課藤田怜です。
■問合せ 健康福祉課福祉支援係 (☎ 76-4006)



「消防」

放水用のホースを両手で抱え、放水する仕草をします